



# 亜熱帯 美ツクリ レンズ



やんばるに暮らす  
生き物たちの素顔

写真と文 久高将和

## アマサギ (サギ科) *Bubulcus ibis*

白い色のサギの仲間を総称してシラサギと呼ぶことが多いが、「シラサギ」という名の鳥は実在しない。このアマサギは、繁殖期に装う頭部や首および背中への飾り羽が亜麻色をしていることからつけられた名前である。

一年を通し沖縄にいるわけではなく、春と秋の渡りの時期に群れとなり飛来する。アマサギが身体を休める風情や、田畑を耕すトラクターの後から、作業を確認するかのように付いて歩き餌をとる姿は、のどかな農村風景のひとつでもある。

### 久高 将和 (くだかまさかず)

1951年沖縄県東村生まれ 国頭村在住  
写真家・環境カウンセラー

やんばるの自然や生活文化を地元ならではの視点で撮影し紹介する傍ら、「やんばる国頭塾」を主宰し、やんばるの地に育まれた生活文化に学ぶツーリズムの確立を目指し精力的に活動している。